

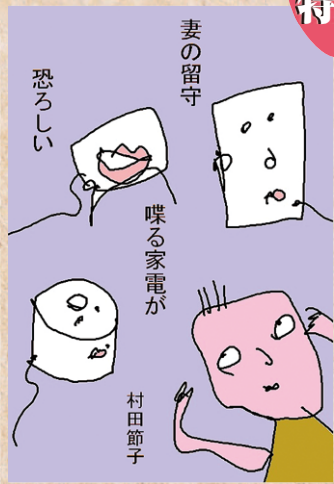
八木健の

川柳アート

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌）
「川柳マガジン」三元選者

97

特選



妻の留守
妻の留守喋る家電が恐ろしい
妻よりずっと優しい口調で喋る家電は、愚痴も言わない、食費も要らない。けれども、いつもおんなじセリフ……。
村田 節子（八幡浜市）

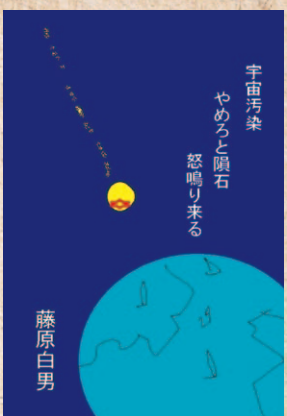


風起せ
大型うちわで中国へ
効果も期待するならば、大きなうちわが必要となる。枚数も想像つかんね。とりあえず息を吐くだけにしよう。
石原 康正（松山市）

佳作



固定電話今じゃ携帯
時代の変化とともに、果たす役割が変化するという事例の一つです。長生きは、年金もらうためとか。
大野美智子（松山市）



宇宙汚染
やめろと願石
怒鳴り来る
宇宙飛行士がウンコを窓外に捨てたんだらう。それから、黄色い雨の時は、特に要注意だべ。
藤原 白男（今治市）



マスクしてアラが隠せる良い季節
四六時中、マスクしていたいのなら、看護師になりなさい。なぬ？ 隠し切れない？ 全部アラだからと？
武井 基次（松前町）



超おしやれ
記念写真に
杖隠し
超おしやれ記念写真に杖隠し
川柳句集の奥付に掲載の顔写真は、二十年前の写真を使う。あの頃は、お洒落しなくても十分に奇麗でした。
河村 嶺子（四国中央市）



母というナビに教わる進む道
子離れできない、親離れできない母子。人生の進路まで母にナビしてもらうのかい？ 母は死に切れないから、日本は長寿国に。
宮井 園江（松山市）



ピカソめく孫の落書目を細め
祖父自身の才能を考えなさい。鳶は鷹を産まない。蛙の子は蛙。爺ちゃんの眼鏡の度が合っていないことも考えられますよ。
花山 昇（松山市）

ひろば JUN.

絆

ミラクル・アイ
（松山市・69歳）

高校卒業50周年の同級会でのこと。机を並べながら一言もしゃべった覚えのないS君が、図らずも声をかけてきた。その前日まで彼と友達になるとは夢にも思わなかったもので、びっくりするやらうれしいやら。互いに無表情の18歳は、歳月を越えて心優しい大人になっていたのである。人生の宝物は、物でもお金でもなく、人の絆の温かさだと教えられた1日だった。

第二の人生

定年くん
（西条市・61歳）

仕事一途に昼夜なく一生懸命働いて、やっとの思いで定年を迎える。喜びも一瞬、病発生で、葉漬けの毎日に落ち込み、うなだれていると、妻は一言「たまには笑ったらどうよ」。よおし、負けてたまるかど奮い立ち、命のある限り頑張ろうと決心し、ウソ笑いでもと「チーズ、チーズ」と言ってみた。アクリートの「川柳アート」でほくそ笑み、「ひろば」の言葉にニヤけていると、妻は心配そうに一言「どこがおかしくなっただんじやあないの」。

孔雀のおかげ

ひまわり
（松山市・57歳）

夫が入院している病院には、なんと孔雀が飼育されている。「何で孔雀？」と疑問に思っていたら、ある時、「孔雀は毒蛇を食べることから、人々の心の毒を取り除き、災いから身を守ってくれる」との記事を見つけ納得。他にもたくさん絵画、お花、細かな配慮があちらこちらに。患者でなくても心が安らぎ、温かくなってくる。その上、働いている人たちの笑顔が最高。心から感謝の日々である。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。